

## ～【「個」と「公」】～

昨日より中間テストが始まりました。昨日、今日と生徒の登校時間がいつもより少し早くなったようです。学校に早く出てきて、ひよっとしたら分からなかった箇所などを友達に聞こうとしていたのでしょうか。いずれにしても試験に対して緊張感を持って取り組もうとしている子ども達が多いということでしょう。明日から答案用紙が返却されると思います。きっと生徒の皆さんの頑張りの成果が表れるはずですよ。

今回の試験に向けて、既に学校のHPでは紹介していますが、2年生は「試験対策委員会」が立ち上げられ、先週金曜日には「予想問題」が配布されました。



【試験対策委員会の皆さん】

自分の試験勉強と同時に予想問題を作ることは大変な作業だったと思いますが、2年生の学力向上に大いに貢献してくれることなのでしょう。本当にありがとうございました。

また先週の金曜日、夕方から雨の予報が出ていたにも関わらず、ソフトテニス部の3年生はテニスコートに出て、砂出しの作業をしてくれました。砂が多いと、ボールのバウンドが不規則になり、練習がうまくいきません。昼休みは友達と楽しいひと時を過ごしたかったはずですが、我慢して部活のために時間を割いてくれました。本当にありがとうございました。

2年生の「試験対策委員」の生徒達、そしてソフトテニス部の生徒達。共通することは「個」より「公」、自分のことよりみんなのことを優先して考え、行動できた点にあります。「公」と書くと集団主義、全体主義のイメージがありますが、もちろんそうではありません。「公共心」のイメージで受け取られてください。

公共心が芽生え、それに基づいて判断し、行動できるようになるということは、精神的には少年期から青年期に入りつつあると思っていきたいと思います。これは精神的な発達の話ですから、1年生が少年期で3年生は青年期、ということではありません。1年生の中にも、判断力がついていない生徒もいれば、3年生の中にも、まだまだ周りのことを視野に入れて判断、行動する余裕のない生徒もいます。トイレで風船に水を入れて投げて遊んだ生徒がいると聞きましたが、その生徒の判断力をとて心配しています。来年は高校進学ですよ。大丈夫です

か？義務教育はあと9ヶ月で終わりますよ。それがいいか悪いか分かりませんが、高校の先生方は中学校の先生方ほど叱ってはくれませんよ。

挨拶、言葉遣い、掃除、生活マナー等、授業以外の場面で先生方が指導するのは「公共心」の育成のためです。生徒の皆さんが、少年期から青年期に、健全に成長してほしいが故です。

生徒の皆さんはまだ中学生ですから、間違いがあっても当然です。そして間違いは必ず許されます。大切なことは、間違ってしまったら、「すみません。間違いました。」と言える素直さを持つこと。そして指導を受けたら「ありがとうございました。」と言える謙虚さを持つことです。これはお父さん、お母さんから叱られた時も同様です。

お父さん、お母さんから叱られたら「ごめんなさい。」、そしてお父さん、お母さんの怒りが冷めるのを待って「さっきは叱ってくれてありがとう。」と言いましょ。

「すみませんでした。」「ありがとうございました。」の2つの言葉を、素直に、普通に言えるかどうか。これもその子の精神的な成長度を見る目安になるのでは、と私は思います。

## ～【 栄光を講えて 】～

6月13日(日)、植木弓道場にて第48回熊本県中学生弓道大会が開催され、女子団体の部で本校弓道部が見事優勝の栄冠を手に入れました。また同大会女子個人の部において、3年2組の吉永優陽さんが、堂々3位に入賞しました。

県大会で優勝するためには「日頃の練習成果を発揮して」のレベルではありません。私達の想像を超える集中力、精神力、判断力等を身につけることができたからでしょう。



【弓道部団体戦メンバー】

弓道部は8月に行われます全国大会へ出場することになりました。選手の皆さん、担当の先生方、コーチ、そしてご家族の皆様、本当におめでとうございませ。

鹿南中学校HPのQRコードです。随時更新し、学校生活の現状をお知らせしています。スマホの「お気に入り」にぜひ登録されてください。

